９月　園だより

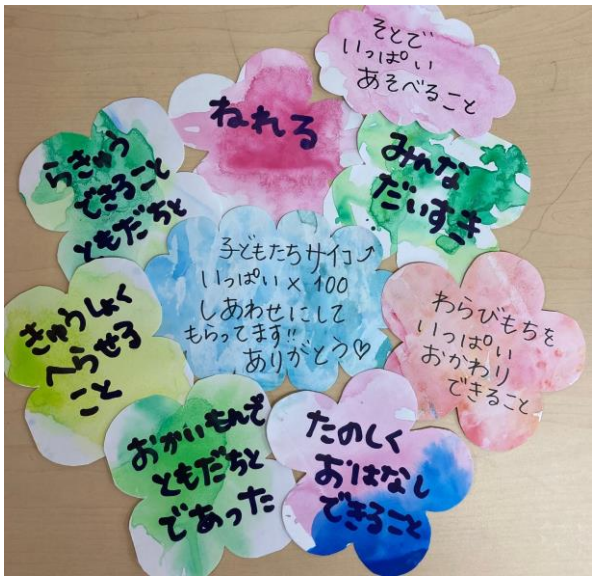
社会福祉法人まりも会
まりも保育園
2022 年９月

子どもたちとの時間は平和だなぁ…

先日配布いたしました、「きりんぐみからの園だより」にあったとおり、現在（8/25）きりんぐみを中心に「へいわまつり」開催にむけ、準備がすすんでいるところであります。
そんな中、きりんぐみから「へいわさがし」（※平和祭りの通貨は、平和ポイントです。）の依頼をうけたこぐまぐみの話しです。
以下、三浦より聞き受けた内容（抜粋）です。

「へいわさがし」とは日々の暮らしの中から、「へいわだなぁ」と思ったことを見つける。というものなのですが、きりんぐみから話しを聞いている時は、あまりピンと来ていない様子の子どもたちだったので（どうかなぁ…）と思ってたんですけど、その後のオヤツの時間、大好物のわらびもちを繰り返しおかわりにきていたＡくんが、不意に「なぁせんせ、いっぱいおかわりできるのへいわやなぁ」って、つぶやいたんです。
もうビックリして、「平和見つけ第一号」としてすぐにみんなにも知らせたんです。
そしたら、その後の自由あそびで、「いっしょに、らきゅう（玩具の名称）できるんもへいわやなぁ」Ｂくんと Ｃくんが話しています。Ａくんの話しはあまり聞いていない様子でいたＢくんのこの言葉に、また、びっくりしてみんなに伝えたら、
子：「そとでいっぱいあそべることもへいわやで」
保：「ほんまやなぁ。すきなところで、すきなことできるのたのしいよなぁ。」
子：「ごはんへらせんのも」
保：「ほんまやなぁ。食べるものがちゃんとあるってことやもんなぁ。」

話してくれる三浦の熱量が伝わり、私もどんどん引き込まれ、事務所内、二人で感動と興奮で大盛り上がり…その結果、次の日の朝。
松藤：「こぐまさ―――ん。昨日の話し、三浦先生から聞いたよ――――。見つけた「へいわ」、平和の木に書こう――――！！！」
そこでまた、平和見つけ合戦がおおいに盛り上がり、またまた、大興奮となるのですが…



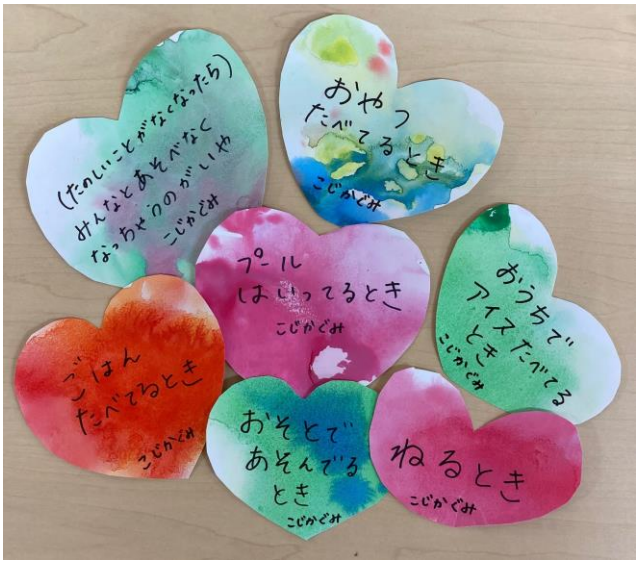
ほんとにすごいと思いませんか。4 歳児ですよ。平和なんていう抽象的なものをとらえていく感性を生まれて 5 年程で、これほどまでに持っていようとは！！到底かないません。
一日一日の暮らしの価値を、また改めて痛感させられます。
思っても思っても、何度思っても、毎度毎度、新鮮に素直に感心、感動させられます。だから、これまでずっと子どもたちの近くにいさせてもらってきたんだと、また、しあわせいっぱいの気持ちにさせられました。

みなさんも、ぜひぜひ、日々の中の「豊かな、価値ある平和」見つけてみてください。

「はぁ、できた。」ちょうどここまで書き終えたタイミングで森山が事務所に入ってきました。

おっと、終えてる場合じゃありません。つづいては、こじかぐみの話しです。
以下、森山より聞き受けた内容（抜粋）です。

「へいわまつり」って決まった時から、子どもたちと何か話したいと思ってたんですけど、今日やっと話してみたんです。
保：「こじかさん、へいわってしってる？」
子：「しってるー。おまつりー。」「じゅーすとか、おみせとか」
保：（そやな。うんうん。）「へいわってさぁ、たのしいことやねんけど。みんなが、たのしいことってなに？？？」
　子どもたちの毎日は、たのしいことでいっぱいです。



保：「でもさぁ、平和じゃなくなったら、たのしいことできへんし、アイスも食べられへんかもしれんし、そとであそべんくなくかもしれんし、プールもはいれへん。今みんながゆってたこと全部できんくなるかもしれんで。」
子：一瞬で表情がくもります。みんな神妙な表情で、「いややー」
「（そうなったら＝平和じゃなくなったら）みんなとあそべなくなるのがいやや」

4歳児につづいて、こちらは、3歳児の話しです。あらまぁ。ほんとに。
やっぱり、子どもたちは、すごいです。

9月の予定			10月の予定		
未定		避難訓練	4	火	運動会予行
5	月	身体測定	8	土	乳児ｸﾗｽ運動会（雨天決行）
28	水	誕生会	9	日	幼児ｸﾗｽ運動会（10月、15土、16日：予備日）
クラス懇談会については、感染状況を鑑み、年長児の5歳児と、春に開催できていなかった、4歳児のみとさせていただきます。			12	水	2,3歳児：遠足
			14	金	避難訓練
7	水	こぐまぐみクラス懇談会	17	月	身体測定
日程調整中		きりんぐみクラス懇談会	19	水	５歳児：遠足（21金：予備日）
【運動会の開催方法について】 コロナウィルスの感染状況を鑑み、昨年と同様に、 ・一クラス毎の入替制（一クラス一時間程度）			27	水	誕生会
			20	木	４歳児：遠足（24月：予備日）
			25	火	芋ほり（27木：予備日）

・乳児（雨天時はホールで開催）と、幼児（園庭での開催を予定している為、天候による予備日有）は別々の日程とする
・両日とも、午前中で終了予定
という形での開催を検討しています。

号外でぇ～す！！！

みんなでいこう

きりんぐみからの園だより　NO.2

へいわまつり　開催”

８/２７（土）に行われた夏祭り。コロナ禍で、こじかぐみ～きりんぐみしか参加できないことを子どもたちに伝えると、「かわいそう」「みんないきたいとおもう」という話になり、きりんぐみ主催の園内祭りを開催することにしました。

また、きりんぐみからの園だより　NO.1 でお知らせしたように、きりんぐみでは“へいわの木”を作り、日々子どもたちとへいわについて話していたので、このお祭りを「へいわ祭り」にしないかと提案し、取り組みがスタートしました。

普通、お祭りでは、お金を使って買い物をするけど、へいわまつりでは何で買う？と聞いてみると、子:「へいわのコインとか？」との声が。ちょうど、へいわの木には「へいわ」がいっぱい集まっているから、これを集めてみよう！ということになりました。

そして、その日から「へいわ集め」がスタートしました。

保:「今日へいわやなぁーと思ったことなんかあった？」

子:「みんなでぷーるはいったこと」「そとであそんだこと」「みんなでなわとびした」

などなど、「へいわやなぁ」と思うことを出し合っては紙に〇をつけていきました。そうして〇がいっぱいになり、どうしたらいいか聞きに行こう！と事務所に行ってみると、なんとお祭りのチケットと引換えることができたのです。

「へいわ」を集めるとチケットがもらえることが分かったきりんぐみですが、こじかぐみ２３人、こぐまぐみ２７人、きりんぐみ２８人分のチケットを貰うためには、たくさん集めないといけません。毎日の「へいわ集め」で、こじかぐみのチケットはなんとかできたのですが、こぐまぐみの分を集め始める中、なかなか大変やなぁという話に・・・

こぐまぐみの分はきりんぐみが頑張るから、こぐまぐみも、きりんぐみの分を集めてくれないか、と相談してみると、こぐま:「いいよー」と言ってもらい、子:「ありがたいなぁ」「たすかる！！」と言っていた子どもたちです。これもまた、“へいわやなぁ”とみんなで喜び合い、そこから、こぐまぐみも一緒に「へいわ集め」が広がっていきました。・・・９月園だより冒頭文参照

そして、こじかぐみにも・・・９月園だより冒頭文参照

そして、うさぎぐみ、りすぐみ、ひよこぐみにも・・・「へいわのき」参照

”へいわ”って漠然としていて、すごく大きなことのように感じますが、子どもたちと日々話す中で、わたしたちの日常にある、当たり前に思っていることの中にこそ、「へいわ」はたくさん、たくさんつまっていて、こうして変わらない日常を生きていけることに、改めて感謝、感謝の毎日を過ごしてきました。

そして、きりんぐみから始まった”へいわの木”が、こじかぐみやこぐまぐみにも広がると、職員の中でも、「子どもたち、こんなことゆってた」と共有する機会が増え、子どもたちの素直な言葉に、ただただ心が震える程の感動をもらい、暖かい、しあわせな気持ちが広がっていきました。こうして「へいわ」の連鎖が繰り返されていた日々をぜひともお伝えし、みなさまにも是非是非、しあわせの連鎖をお届けしたいと思った次第です。

「へいわの木」をともに育てて下さったみなさま、ありがとうございました！

「へいわのき」にやどされた一つ一つの思いが、これからもずっとずっと、大切にされていくことを心より願うとともに、みんなで守っていきたいと切に感じています。